

# 健康福祉委員会資料

## (消防局関係)

- 1 所管理事者の紹介及び事業概要の説明

# 消防局・署及び消防団 幹部名簿

平成26年4月1日現在

## 消防局

役 職	階 級	氏 名
消防局長	消防司監	南部 浩一
総務部長	消防正監	平野 敏行
警防部長	消防正監	山口 高広
予防部長	消防正監	田中 経康

部	役 職	階 級	氏 名
総務部	担当部長庶務課長事務取扱	消防 監	日 迫 善 行
	人 事 課 長	消防司令長	高 遠 英 夫
	担当課長（企画担当）	消防司令長	谷 芳 之
	施設装備課長	消防司令長	酒 寄 惠 司
警防部	担当部長警防課長事務取扱	消防 監	原 悟 志
	担当部長〔特殊災害対策〕	消防 監	原 尻 賢 司
	救 急 課 長	消防司令長	京 増 敏 彦
	指 令 課 長	消防司令長	森 下 泰 弘
	航 空 隊 長	消防司令長	堀 口 和 彦
予防部	担当部長予防課長事務取扱	消防 監	酒 井 浩 三
	査 察 課 長	消防司令長	金 子 智 哉
	危 険 物 課 長	消防司令長	高 橋 俊 勝

## 消防署

署 別	役 職	階 級	氏 名
臨港消防署	署 長	消防 監	小 林 英 木
川崎消防署	署 長	消防 監	山 本 勉
幸 消防署	署 長	消防 監	村 上 公 憲
中原消防署	署 長	消防 監	高 嶋 敏
高津消防署	署 長	消防 監	越 谷 成一
宮前消防署	署 長	消防 監	並 木 努
多摩消防署	署 長	消防 監	松 野 忍
麻生消防署	署 長	消防 監	松 澤 孝 行

議会担当：庶務課担当係長・調査担当 北村 健太

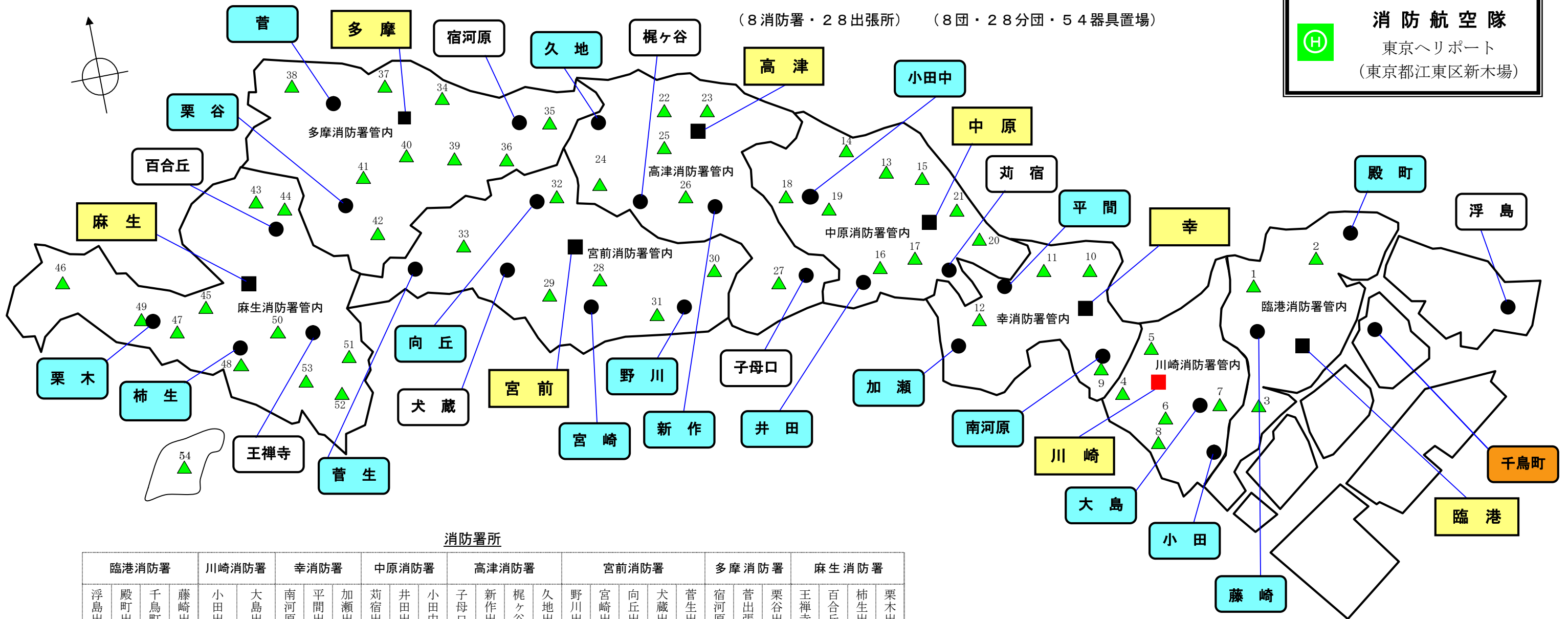
## 消防団

団 別	役職(階級)	氏 名	団 別	役職(階級)	氏 名
臨港消防団	団 長	石切山幸一郎	高津消防団	団 長	河原 金藏
川崎消防団	団 長	工 藤 宏	宮前消防団	団 長	吉田 義一
幸 消防団	団 長	新井 和久	多摩消防団	団 長	松澤 喜義
中原消防団	団 長	生坂 征一	麻生消防団	団 長	土方 泰司

# 川崎市の消防署・出張所及び消防団器具置場

(8消防署・28出張所) (8団・28分団・54器具置場)

**消防航空隊**  
東京ヘリポート  
(東京都江東区新木場)



消防署所

臨港消防署			川崎消防署			幸消防署			中原消防署			高津消防署			宮前消防署			多摩消防署			麻生消防署						
浮島出張所	殿町出張所	千鳥町出張所	藤崎出張所	小田出張所	大島出張所	南河原出張所	平間出張所	加瀬出張所	荻宿出張所	井田出張所	小田中出張所	子母口出張所	新作出張所	梶ヶ谷出張所	久地出張所	野川出張所	宮崎出張所	向丘出張所	犬蔵出張所	菅生出張所	宿河原出張所	菅出張所	栗谷出張所	王禅寺出張所	百合丘出張所	柿生出張所	栗木出張所

消防団器具置場

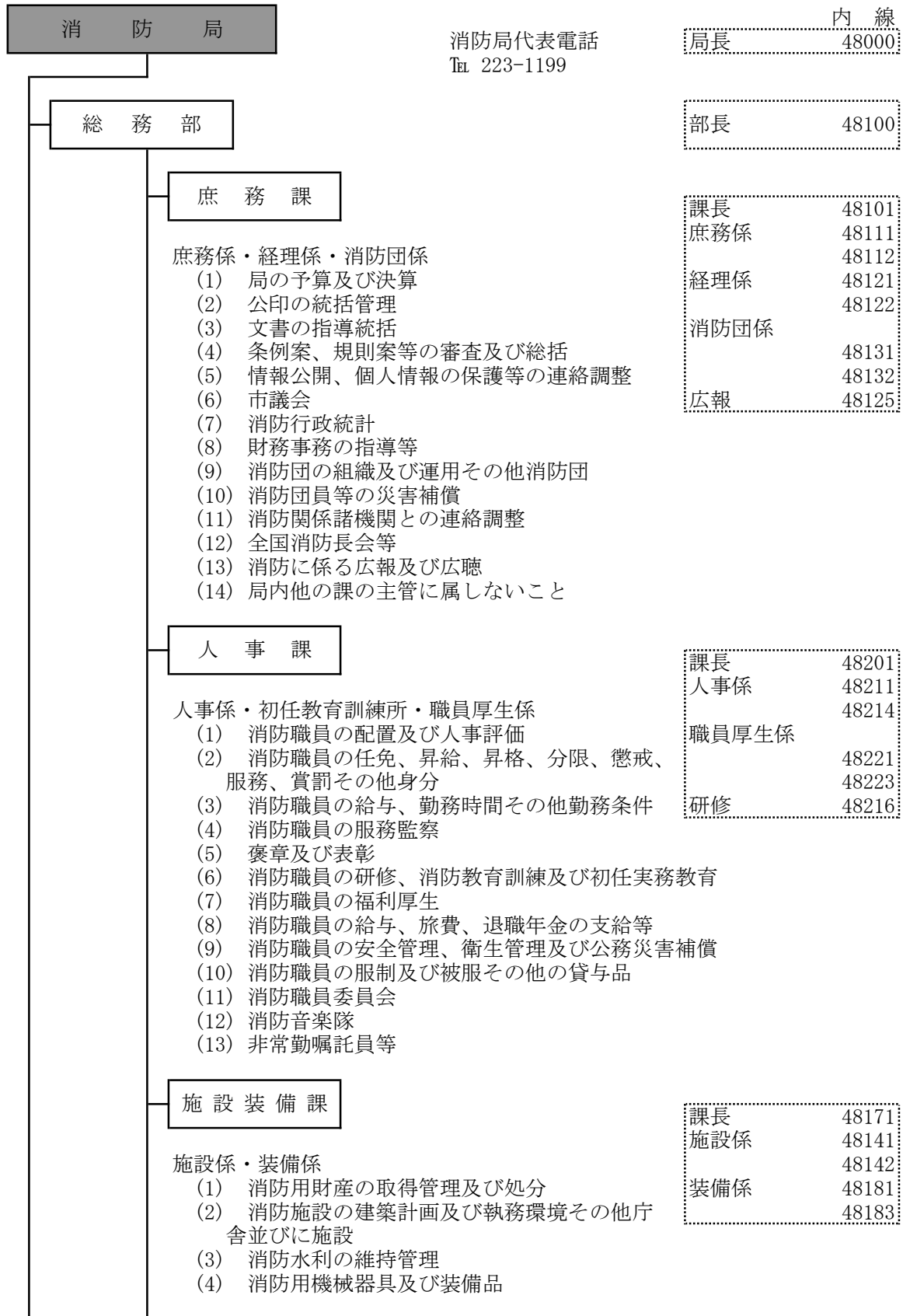
臨港消防団			川崎消防団					幸消防団			中原消防団							高津消防団					宮前消防団																							
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33														
第1分団	第2分団	第3分団	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第1分団	第2分団	第3分団	中原杉	中分	宮内	丸子	住吉	木月	住ノ坪	市分	大戸	上小田	大戸	下小田	玉川	平間	玉川	高津	高津	二津	作延	上延	下延	橋分	新分	橋分	千分	宮前	馬前	宮前	土橋	野川	野川	野川	向丘	神木	向丘	蔵分

- 凡例**
- 消防局・川崎消防署
  - 消防署
  - 出張所
  - ▲ 消防団器具置場
  - 消防署
  - 出張所
  - 救急車配置出張所
  - 消防艇配置出張所

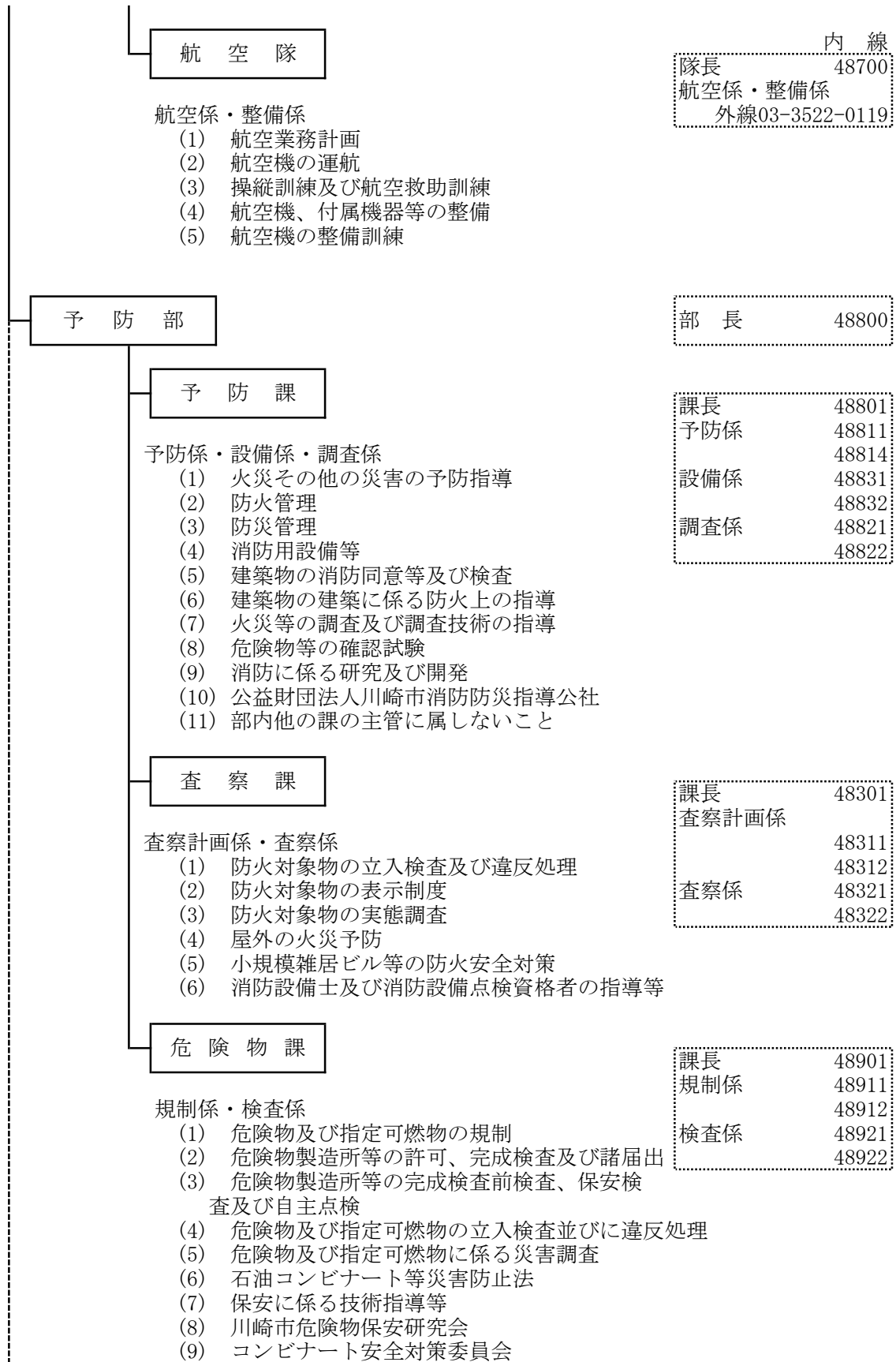
多摩消防団										麻生消防団																	
34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54							
稲登田分団	稲登田分団	宿河原分団	稲長尾分団	稲中野分団	稲菅分団	生東分団	生中央分団	生大田分団	生長分団	麻生東分団	細山分団	麻生東分団	高石分団	柿昭分団	柿生分団	黒川分団	片平分団	上生分団	栗木分団	東福寺分団	東福寺分団	王禅寺分団	東野分団	早野分団	下生分団	東生分団	岡上分団

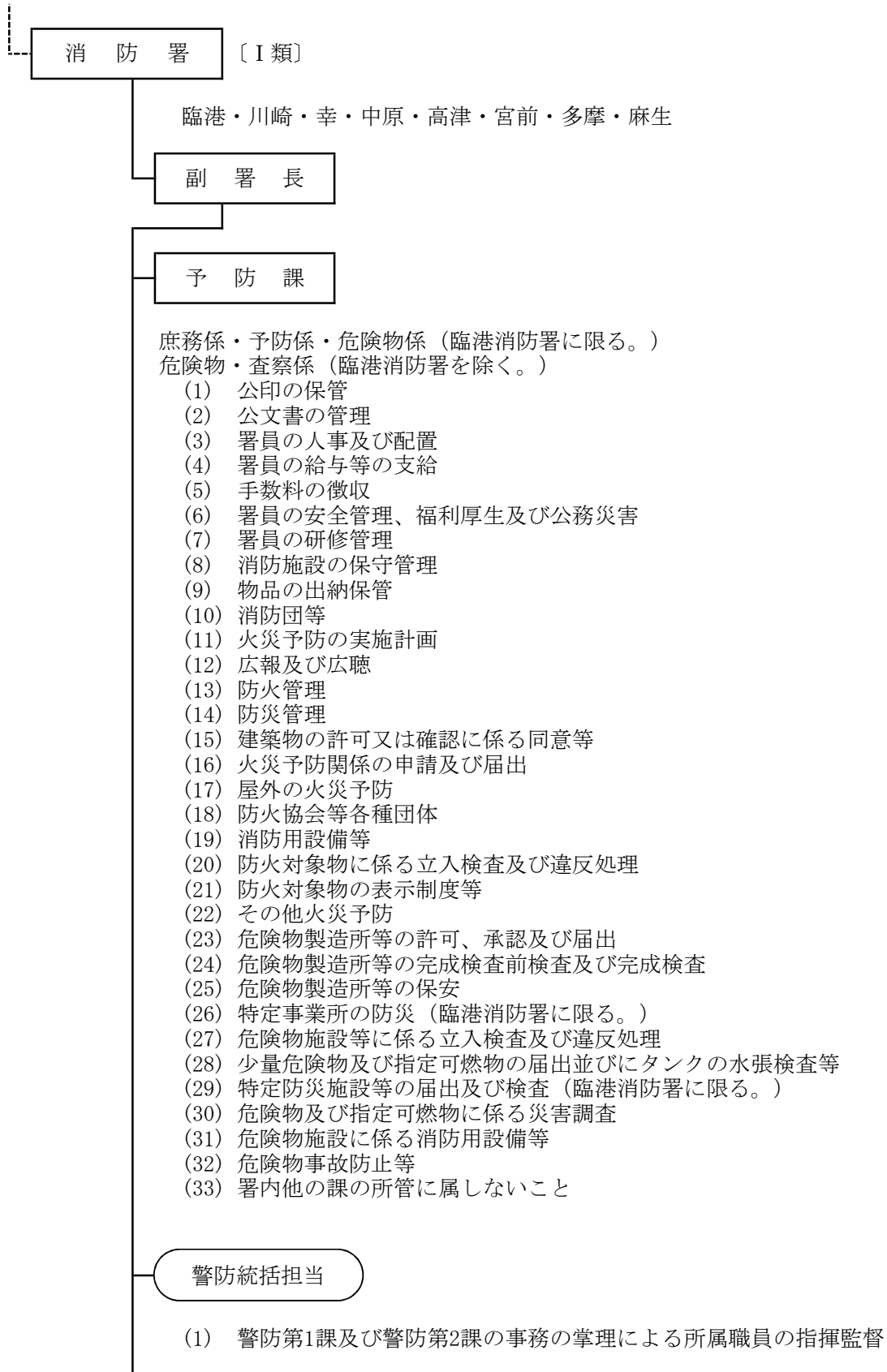
※東生田班 建替工事に伴い、多摩消防署内に仮設運用中

# 平成26年度 消防局機構・機能図









警防第1課・警防第2課

警防係・調査係・救急係

- (1) 災害活動
- (2) 警防計画及び防災対策
- (3) 警防体制、災害活動の指揮
- (4) 消防職員及び消防団員の動員
- (5) 火災警報、消防信号及び消防通信
- (6) 消防地理及び消防水利
- (7) 消防隊等の運用及び訓練
- (8) 救助業務
- (9) 自衛消防隊、自衛防災組織等の訓練の指導
- (10) 圧縮アセチレンガス等の消防活動阻害物質
- (11) 火災の調査及び災害調査
- (12) 指揮情報隊
- (13) 火災統計
- (14) 災害情報及び災害現場広報
- (15) 課の安全管理
- (16) 火災予防指導等
- (17) 地震対策用消火器の維持管理
- (18) 救急活動
- (19) 救急隊の運用及び訓練
- (20) 救急資機材
- (21) 救急統計
- (22) 救急技術の研究
- (23) 救急の技術指導及び救急知識の普及
- (24) 救急告示医療機関等の連絡
- (25) その他救急業務
- (26) 消防用機械器具
- (27) 機関員の技術指導
- (28) 消防用油脂類
- (29) 消火薬剤等
- (30) 消防団の機械器具等

出張所

〔Ⅲ類〕

浮島・千鳥町・殿町・藤崎・小田・大島・南河原・平間・加瀬  
菟宿・井田・小田中・新作・久地・子母口・梶ヶ谷・野川・向丘  
宮崎・菅生・犬蔵・栗谷・宿河原・菅・百合丘・柿生・王禅寺・栗木

- (1) 消防施設の保守管理
- (2) 物品の保管
- (3) 広報広聴
- (4) 消防用機械等の保守管理
- (5) 警防計画
- (6) 消防地理及び消防水利
- (7) 災害情報の収集
- (8) 職場研修
- (9) 自衛消防隊、自衛消防組織等の訓練指導
- (10) 火災の調査及び災害調査
- (11) 地震対策用消火器の維持管理
- (12) 救急
- (13) 火災予防指導等
- (14) 消防法、川崎市火災予防条例及び川崎市防火管理等に関する規程に基づき届出等のうち、別に定めるものの処理
- (15) その他、消防長が定める事項



## 消防職員・消防団員数

平成 26 年 4 月 1 日現在

区 分	定 数
消 防 職 員	条例定数（消防長を除く） 1, 403 人  現在員（消防長を除く） 1, 436 人  【内訳】 消防吏員 1, 432 人 一般職員 4 人
消 防 団 員	条例定数 1, 345 人 現在員 1, 162 人

## 消防機械装備一覧表

平成 26 年 4 月 1 日現在

車 種 区 分	数	車 種 区 分	数
普通ポンプ車（非常用車両含む）	41 台	震災工作車	1 台
水槽付ポンプ車	10 台	高発泡車	1 台
海水利用型消防水利システム （大型ポンプ車・ホース延長車）	2 台	電源車	1 台
はしご車	8 台	水災害対応車	2 台
化学車	8 台	防災資機材搬送車	3 台
大型高所放水車	2 台	ヘリコプター	2 機
泡原液搬送車	2 台	消防艇	2 艇
高規格救急自動車 （非常用車両 8 台を含む）	35 台	地震体験車	2 台
救助工作車（非常用車両含む）	9 台	支援車	1 台
特殊災害対応自動車	2 台	大型除染システム搭載車	1 台
特別高度工作車	1 台	査察車・その他車両	65 台
<b>消 防 局 合 計</b>		<b>197 台 2 機 2 艇</b>	
小型動力ポンプ付積載車	54 台	小型動力ポンプ	67 台
<b>消 防 団 合 計</b>		<b>121 台</b>	

# 川崎市の主な消防車両等



ポンプ車



水槽付ポンプ車



大型ポンプ車



救助工作車



特殊災害対応車



水災害対応車



はしご車



大型化学車



化学車



大型高所放水車



高発泡車



電源車



震災工作車



ホース延長車



特別高度工作車



大型除染システム搭載車



高規格救急車



支援車



消防艇



地震体験車



ヘリコプター

# 平成26年度 消防局主要事業

◎新規事業 ○拡充事業

組織名・主要事務事業名	事業の主な内容	事業概要
<b>総務部</b>		
<b>庶務課</b>		
1 消防団に関する事務	<p>◎消防団通信設備維持管理事業</p> <p>○消防団員出務費用弁償</p> <p>消防団員貸与被服費</p>	<p>消防団員が災害現場活動で使用するための資機材、MCAデジタル無線機を拡充整備し、消防団活動の充実強化及び消防署との連絡体制の強化を図ります。</p> <p>消防団員の災害現場への出動や訓練(自主防災組織)に対する訓練指導を含む)の際に支給される手当の範囲を見直し、消防団員の処遇改善を図ります。</p> <p>消防団員が災害現場活動時や訓練時に着用する作業服等を整備します。</p>
2 局の庶務		局の庶務・経理・調査・広報事務
<b>人事課</b>		
1 消防音楽隊等活動事業	カラーガード隊活動事業 消防音楽隊活動事業	消防音楽隊とカラーガード隊の演奏・演技により、市民に対し広く防火・防災思想の普及啓発を行います。
2 局の人事		局の人事・給与・勤務条件・福利厚生・安全衛生等に関する事務
3 職員の研修に関する事務	神奈川県消防学校初任教育入校事業	新たに採用された職員に対し、神奈川県消防学校において教育訓練を行い、消防全般にわたる基礎的な知識及び技術等の修得、消防職員としての必要な人格の形成を図ります。
<b>施設整備課</b>		
1 消防車両・消防艇等管理業務	救急車両等購入事業 消防団車両整備事業 消防車両購入事業 消防艇点検整備事業	救急車両及び車載救急資機材を計画的に更新するとともに、適正な点検・整備を実施します。 消防力を維持するため、消防車両及び消防団車両並びに消防艇等を計画的に更新するとともに、適正な点検・整備を行います。
2 消防署所の改築事業	出張所改築事業	老朽化した宮前消防署菅生出張所の改築工事を26～27年度の2年計画で実施します。また、改築工事中の仮設庁舎として予定している宮前消防署犬蔵出張所の一部を改修し、防災拠点となる消防施設の強化を図ります。
3 庁舎等整備事業	消防団施設整備事業 千鳥町出張所棧橋改築事業 緊急消防援助隊活動拠点整備事業	<p>迅速な出動体制や的確な消防業務運営を確保するため、老朽化した庁舎・施設・消防団器具置場等の改修・整備及び消防団器具置場用地の取得を推進します。</p> <p>大規模地震や津波などの対策として、棧橋を改築し、消防艇の出場体制を確保します。</p> <p>市内に大規模災害が発生した際には、全国から緊急消防援助隊として派遣される消防職員が、進出・活動拠点となる消防総合訓練場(宮前区犬蔵)に集結することから、東日本大震災の教訓を踏まえ、新たに自家給油施設を整備するなど緊急消防援助隊活動拠点施設を整備し、消防力の充実強化を図ります。</p>
4 警防資器材等管理業務	防火衣・帽更新事業 警防活動機器等整備事業	的確な警防活動を維持するため、災害現場で使用する警防資機材等の整備を図ります。
5 耐震性貯水槽建設事業	耐震性貯水槽建設事業	震災時など断水時における市内全域の消防水利を確保するため、26年度には市内各所に耐震性貯水槽を5基建設し、消防力の強化を図ります。
<b>警防部</b>		
<b>警防課</b>		
1 警防活動事業	◎警防活動事業(消火用具整備)	市内に設置している老朽化した街頭消火器に替え、消火栓に直付けして使用する消火ホースキットを配備します。また、町内会や自治会等で構成される自主防災組織に対して、訓練指導及び消火ホースキットの設置を促進することで、市民の自助力・共助力の向上を図ります。
2 救助活動事業	救助用資器材購入事業	首都直下地震による倒壊建物等の都市型災害への災害対応能力を強化します。



組織名・主要事務事業名	事業の主な内容	事業概要
<b>救急課</b>		
1 救急救命士養成事業	救急救命士養成事業 メディカルコントロール活動事業	救急救命士の常時乗車体制を運用するとともに、より高度な救命処置ができる認定救急救命士を計画的に養成します。 救急活動体制の向上を図るため、医師による指導・助言及び活動内容の検証や教育体制を整備して、救急隊員(救急救命士を含む)が行う救命処置の高度化に向けた体制の充実強化を図ります。
2 救急活動事業	救急活動事業	PA連携の運用や市民の応急手当知識・技術の向上と不要・不急の救急要請の抑制を進めます。
<b>指令課</b>		
1 消防・救急無線デジタル化事業	消防救急無線デジタル化事業	国の施策として電波法の一部が改正されたことに伴い、全国の消防本部で使用しているアナログ方式の消防救急無線設備がデジタル方式に移行されることから、必要な整備を進めます。
2 消防指令体制の整備	◎消防情報通信高度化事業	消防局の基幹システムである消防指令システムと消防情報管理システムの安定稼働を確保するため、29年度の更新に向けて、基本計画等を策定し、システムの最適化に取り組みます。
<b>航空隊</b>		
1 ヘリコプター整備事業	◎ヘリコプター整備事業	ヘリコプター「そよかぜ2号」は、運用開始(6年4月)から20年を超え、機体の老朽化が進んでいることから、26～27年度の2年計画で更新整備を実施します。 ヘリコプターの更新に伴い、ヘリコプター格納庫の一部を改修します。
<b>予防部</b>		
<b>予防課</b>		
1 火災予防に関する業務	予防活動事業	各消防署単位の防火指導員制度等を活用し、放火火災防止対策を推進します。
2 火災等の調査事務	火災調査等活動事業	火災原因調査を効果的に行い、その結果を市民に周知することにより、火災予防意識の向上を図ります。
3 消防広報事業	予防広報活動事業	効果的で分かりやすい広報媒体等を活用し、各種イベント等において火災予防を推進します。
<b>査察課</b>		
1 査察活動事業	査察活動事業	火災が発生した場合に被害の拡大が予想される重点対象物を選定するなど、査察執行の強化を図ります。
<b>危険物課</b>		
1 危険物施設等の規制業務	保安活動事業	危険物施設の許認可等の業務を行うとともに、査察や安全担当者等講習会を通じて事故防止について指導を行い、安全対策の向上を図ります。

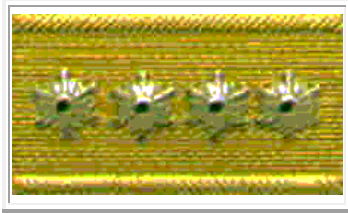
### 平成25年中の火災概要

区 分	平成25年	平成24年	増 減
件 数 (件)	337	328	9
死 者 (人)	6	10	△ 4
負 傷 者 (人)	59	64	△ 5
焼損床面積 (㎡)	3,675	3,443	232
損害額 (千円)	267,779	295,359	△ 27,580

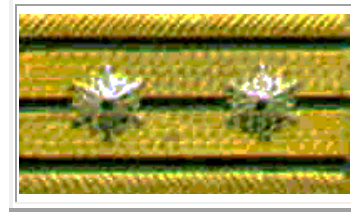
### 平成25年中の救急概要

区 分	平成25年	平成24年	増 減
出場件数 (件)	63,464	62,661	803
搬送人員 (人)	56,402	56,098	304

# 消防吏員の階級



消防総監  
(東京消防庁のみ)



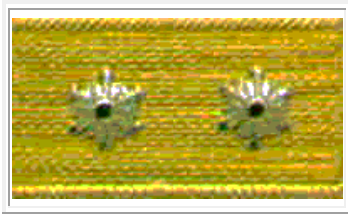
消防司令  
(課長補佐・係長・出張所長・担当係長)



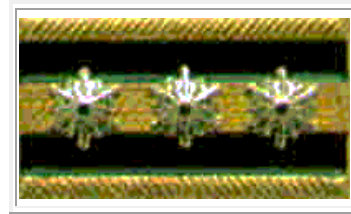
消防司監  
(局長)



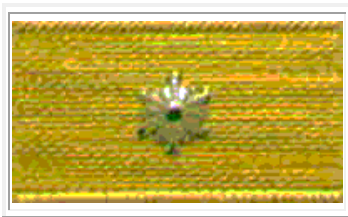
消防司令補  
(主任)



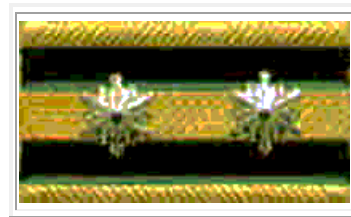
消防正監  
(部長)



消防士長  
(主任)



消防監  
(署長・担当部長)



消防副士長



消防司令長  
(課長・副署長・担当課長)



消防士

# 消防団員の階級



団長



部長



副団長



班長



分団長



団員



副分団長